

報道関係各位

平成 26 年 3 月 19 日

公益財団法人 日本英語検定協会  
東京書籍株式会社

**東京書籍が開発した新サービス「NEW HORIZON みるみるマスター」、  
英検協会の学習ポータルサイト「英ナビ！」で提供開始  
— ICT を活用したウェブベースの e-ラーニングサービス —**

公益財団法人 日本英語検定協会(理事長:松川孝一、所在地:東京都新宿区、以下、「英検協会」)が提供する、全国の英語学習者を支援する学習ポータルサイト「英ナビ！」で、このたび、東京書籍株式会社(代表取締役社長:川畑慈範、所在地:東京都北区、以下、「東京書籍」)が開発した、ウェブベースの e-ラーニングサービス、「NEW HORIZON みるみるマスター」がサービス開始となります。

2011 年の文科省発表の「教育の情報化ビジョン」では、教育の情報化の推進は、21 世紀にふさわしい学びと学校を創造する鍵として記載されています。また、社会の変化への対応の観点からも、情報教育の重要性と、ICT (Information and Communication Technology) の環境整備の必要性は指摘されており、教育の情報化の推進は、教育現場だけでなく、教育界全体で取り組むべき喫緊の課題です。

こうした教育を取り巻く環境の変化に対し、英検協会もその対応の必要性を認識し、早い段階から ICT 関連事業基盤の抜本整備に着手してまいりました。中でも英語学習者のさらなる英語能力向上に寄与するためには、「測定→診断→学習」をサイクルとする一体型の学習サービス機能の提供は必要不可欠と考え、各々の「英語能力の測定結果」に基づく「学習ナビゲーション」の機能を兼ね備えた英語学習ポータルサイト、「英ナビ！」<<http://www.ei-navi.jp/>>を 2011 年に立ち上げました。

一方、東京書籍は、1909 年(明治 42 年)の創業以来、我が国の教育の根幹である「教科書」事業を基盤とし、これまで 105 年にわたり、「より良い教科書をより多く発行することで、日本の未来を担う人材を育成する」との社会使命のもとに業界のリーディングカンパニーとして教育界を牽引し続けております。また教育の情報化の重要性にいち早く着目し、パソコンソフトや DVD といったマルチメディア教材の開発では先駆者的存在です。現在は ICT を活用したネットワークの構築に重点をおき、永年に渡って蓄積してきたデジタルコンテンツの提供に着手しています。さらに 1999 年に開設した、小・中・高・大学の先生方に向けた教育情報サイト、「東書 E ネット」は、現在 18 万人を超える会員数を擁し、海外も含めた教育現場を幅広く支援しております。

こうした英検協会、東京書籍それぞれの学習や教育に対する想いが合致し、東京書籍の新サービス、「NEW HORIZON みるみるマスター」が、英検協会の学習ポータルサイト、「英ナビ！」でのサービス開始となりました。

「NEW HORIZON みるみるマスター」は、最も多く採用されている中学校の英語の教科書、「NEW HORIZON」を題材としたウェブベースの e-ラーニングサービスです。中学生を主な対象とし、「NEW HORIZON」を使用した学校の授業の復習を習慣化させ、定期テスト対策にもご活用いただけます。また個々の学習履歴から、それぞれに最適な学習プログラムを提供し、実用英語技能検定「英検」対策にも通じます。

このように「NEW HORIZON みるみるマスター」は、英語の学習機会を拡大していくための基盤づくりに資するものであり、学校での授業の学習と英検の学習を融合させることを可能にします。したがって、「NEW HORIZON みるみるマスター」での英語学習は、子供たちに負担なく、英語の楽しい学びを実感いただけるものと考えます。

(詳細は別紙をご参照)

今後、英検協会、東京書籍いずれも、ICT 関連事業基盤の拡大を図り、これまで、それぞれが培った英語教育の知見・ノウハウを、新しいコンテンツとしてご提供していくことで、全国の一人でも多くの英語学習者のさらなる英語能力向上に貢献してまいります。



#### ■公益財団法人 日本英語検定協会について

公益財団法人 日本英語検定協会は、「実用英語の普及と向上」を目的に1963年に設立されました。以来、「英検」の名称で親しまれている実用英語技能検定の実施・運営のほか、児童向けの「児童英検」やビジネスパーソン向け英語能力テスト「BULATS(ブラッツ)」、留学・海外移住のための英語運用能力試験である「IELTS(アイエルツ)」、さらには英語教育に関する優秀な研究企画に助成金を交付する「英検研究助成金」制度など、実用英語の普及・向上に向けた様々な取り組みを展開しております。2012年4月、内閣府からの認定書交付を受けて正式な団体名称を「公益財団法人日本英語検定協会」に改めています。

英検協会ウェブサイト：<https://www.eiken.or.jp/>

#### ■東京書籍株式会社について

東京書籍は1909年(明治42年)の創業以来、日本の教育の根幹である「教科書」事業を柱として成長してまいりました。その主たる教材である教科書を制作・発行することに私たちは誇りをもち、常に「より良い教科書づくり」を実践してまいりました。教育制度の改革や教育メディアの多様化、生涯学習といった教育の概念そのものが拡大していく現代、この時代の変化や要求に対応して自らも変革していく必要があります。私たち東京書籍は今、活字の分野から映像・ソフト開発・WEB配信サービス・評価事業まで事業領域を拡大し、時代の変化に即応した活動をしています。

東京書籍ウェブサイト：<http://www.tokyo-shoseki.co.jp/>

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

<本件の問い合わせ先>

・公益財団法人 日本英語検定協会 広報調査室 広報調査課  
皆川 英明

TEL:03-3266-6840 FAX:03-3266-6570

・東京書籍 株式会社 ICT事業本部 制作部  
小松 剛

TEL:03-5390-7566 FAX:03-5390-6019

**NEW HORIZON** **みるみる**  
English Course マスター

内容紹介資料



本サービスのねらいと特徴

NEW HORIZON **みるみる** English Course マスター とは、

中学生の英語学習をトータルに  
サポートするためのサービスです

日常学習

定期テスト  
対策

英検対策

- これまで、別々に行われていたこれらの学習を、みるみるマスター上で集中して行うことができます。
- スケジュール管理や学習履歴の管理をすることで、学習者一人ひとりに最適化された学習として進めることができます。

## 3つのコースと学習の流れ

### 授業定着コース

授業があった日に復習するためのコースです。インプット・アウトプットそれぞれのコンテンツが含まれます。

授業のつぼ **チェック**

#### 学習履歴の蓄積

一定期間が経過後、それまでの範囲をまとめて振り返る問題演習を行います。

まとめて**チェック**

#### 学習履歴の蓄積

### 定期テスト対策コース

学習履歴を反映した「じぶん問題集」を定期テスト前に解くことができます。

### 英検対策コース

英検の過去問演習を行い、出題・解答形式に慣れるためのコースです。

3

## 授業定着コース

授業定着コースは、学校で授業を受けた日の復習を行うことを目的としています。以下の順序で学習が進みます。

- 1 新出単語のフラッシュカードや音読練習、文法解説映像の閲覧などのインプットを行います。教科書本文を音、映像と様々なメディアを活用しながら理解し暗記します。



▲新出単語のフラッシュカード



▲文法の解説映像を閲覧

4

## 授業定着コース

- 2 教科書準拠問題とその発展問題の演習を通じたアウトプット(「チェック」演習)を行います。また、出題の構成を任意に設定して行う「まとめてチェック」演習では、初回学習から時間が経過した部分も含め意識的に復習することができます。



▲教科書準拠リスニング問題



▲語句・文法の教科書準拠問題

演習結果、正答・誤答の記録をその後の学習に活用する仕組みとなっており、個人の傾向に合わせた学習(アダプティブ・ラーニング)を進めることができます。

5

## 定期テスト対策コース

定期テスト対策コースでは、授業定着コースでの学習結果を踏まえた「じぶん問題集」を解きます。  
 日常学習の蓄積が多いほど、「じぶん問題集」の出題構成は苦手な問題や間違えやすい問題とその類題を中心とした、個人に最適化された構成になります。



◀「じぶん問題集」のトップ画面

じっくりテスト対策したい、テスト直前に少し解いて確認したい、などさまざまなタイプの生徒のニーズに答えられるよう配慮してあります。

6

## 英検対策コース

英検対策コースでは、授業で学習した内容をもとに、英検の形式に慣れることを目標に問題演習を行います。

問われている内容は同じでも、学校の定期テストとは異なる形式で出題されると間違えてしまう、ということが無いよう十分な演習が行えるようになっています。



◀「英検対策コース」の演習画面

英検の過去問を素材に問題演習を行います。正答の確認や解説を読むこともできます。

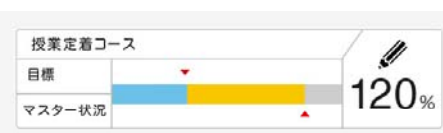
## 学習スケジュール管理機能

サービス利用開始時に年間スケジュール・学習範囲を入力し、日常学習のペース配分を行うことができます。スケジュールに対して学習が進んでいるか・遅れているかという情報も、「教科書マスター指数」として分かるようになっています。さらに、定期テスト前には自動で「定期テスト対策コース」に切り替わり、テスト対策を始められます。

こうした機能により、学習計画と見通しが立てやすくなり、学習の習慣化に役立ちます。



▲スケジュールの入力画面



▲「教科書マスター指数」  
学習の進捗状況をひと目で確認できるようになっています。

## リリース日程・サービス価格

2014年

|             |                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------|
| 3月19日～3月31日 | <b>プレリリース期間</b><br>※「授業定着コース」の無料体験をして頂けます。               |
| 4月1日～       | <b>正式版リリース</b><br>※以下のチケットを購入・利用し、実際に本サービスのご利用を開始して頂けます。 |

本サービス利用のためには、英ナビ！上で「チケット」の購入が必要です。正式版リリース後のチケットの種類と価格は以下の通りです：

|               |                                                                                                                                                    |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>無料チケット</b> | <b>5日間有効</b><br>※「授業定着コース」のみ受講可能です。                                                                                                                |
| <b>有料チケット</b> | <b>1ヶ月 2,000円</b><br><b>3ヶ月 6,000円</b><br><b>6ヶ月 12,000円</b><br><b>12ヶ月 24,000円</b><br>※「授業定着コース」「定期テスト対策コース」「英検コース」すべて受講可能です。<br>※価格はいずれも税抜き表示です。 |

9